

MRD 解析

背景

微小残存病変 (MRD) は血液腫瘍において強力な予後因子であり、治療の適切な選択や予後の予測において重要な役割を果たします。MRDの測定にはフローサイトメトリーを利用した方法や症例特異的なプライマーを用いた定量PCRを利用した方法がこれまで利用されていましたが、フローサイトメーターを利用した手法では時に主観的な判断になるケースがあり、定量PCRでは症例特異的なプライマーがデザインできないケースもあるため、近年では次世代シーケンサー (NGS) を用いた解析手法も開発されています。NGS解析の想定されるメリットとしては感度が高く、客観性も安定的に高くなり、ハイスループット化も可能なことです。

解析概要および特長

当社では invivoscribe 社の Lympho Track シリーズ製品を用いた解析を提供いたします。Lympho Track シリーズは Target となる遺伝子全体を解析することでT細胞とB細胞の評価を可能としております。また低濃度コントロールや内部コントロールを利用することも可能で、精度管理をしながら解析・評価することを可能にしています。



The LymphoTrack® MRD Bundled Solution

NGS Powered Assays, Controls & Software for Longitudinal MRD Testing

検体条件

血清または血漿：200μL 以上

調整・送付方法はお問い合わせください。

受注は 6 検体単位で承ります。

納品物

- 作業報告書
- MRD Report

オプション

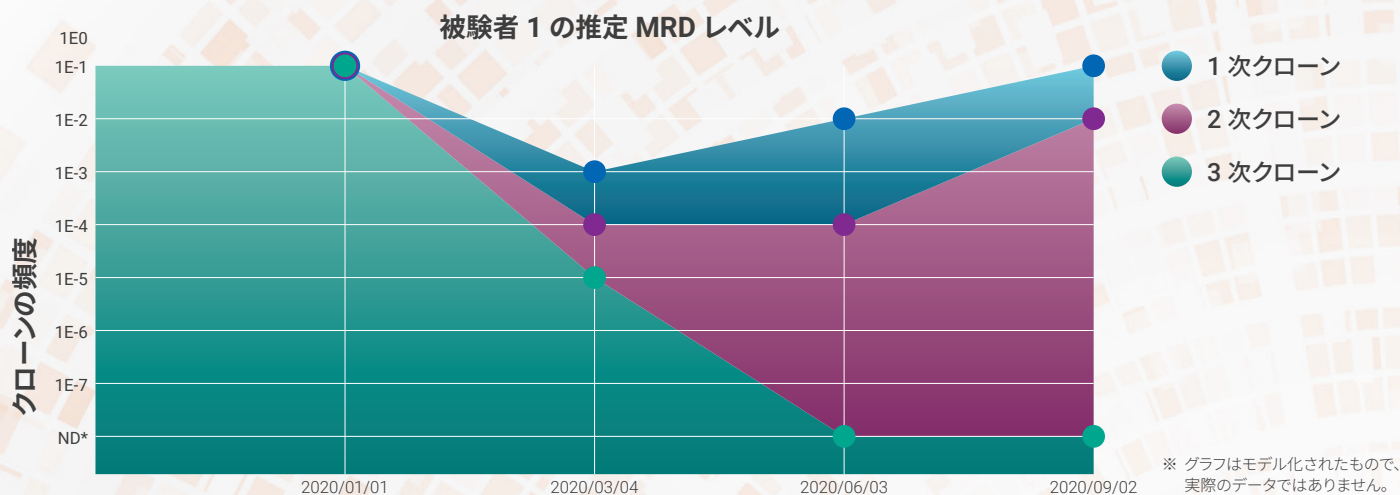
血清・血漿での Proteomics 解析も同サンプルから承ります。その場合は検体量が変わりますので、お問い合わせください。



Schematic depiction of the TRB gene locus:



Schematic depiction of the TRG gene locus:



GxD 株式会社

納品物やレポート、技術的なお問い合わせ

✉ support@gxd.co.jp

製品・サービスへのお問い合わせ

✉ info@gxd.co.jp

〒 277-0882 千葉県柏市柏の葉 6 丁目 6-2 三井リンクラボ柏の葉 1 403 号室

☎ 04-7131-7111 (代表)

🌐 <https://www.gxd.co.jp/>

GxD
Genome x Data